

はだか麦 ‘ハルヒメボシ’ の適正播種量は ‘マンネンボシ’ より少ない！

農林水産研究所

‘ハルヒメボシ’ は初期生育が旺盛な多収品種です。厚播きは黄化症状や穂数減少につながるため、かならず適正な播種量で播きましょう。

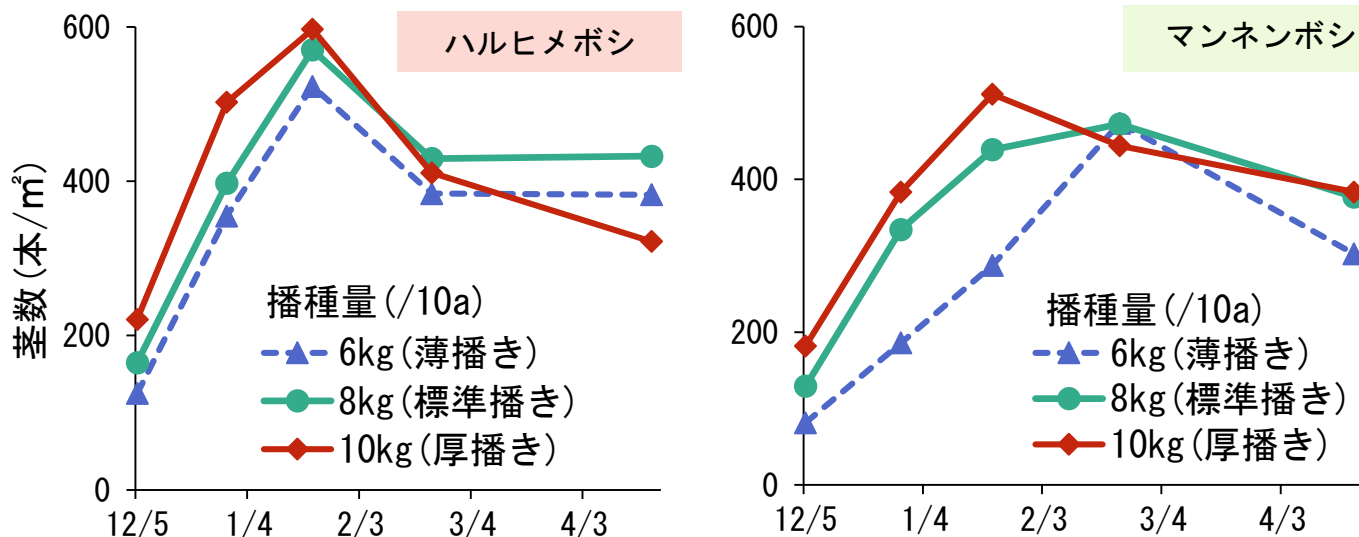


図 適期播きでののはだか麦の茎数の推移 (2021年産)

表 適期播きでののはだか麦の品種・播種量別の収量構成要素 (2021年産)

品種	播種量	穂数 (本/m ²)	千粒重 (g)	収量 (kg/a)
ハルヒメボシ	6kg	383	33.5	46.4
	8kg	433	33.2	42.2
	10kg	322	33.4	42.3
マンネンボシ	6kg	303	34.1	30.0
	8kg	377	34.4	33.0
	10kg	384	34.0	33.2

※千粒重、収量はハルヒメボシ2.1mm、マンネンボシ2.2mm篩選後の値

表 遅播きでのハルヒメボシの播種量別の収量構成要素 (2021年産)

播種量	穂数 (本/m ²)	千粒重 (g)	収量 (kg/a)
8kg	384	33.7	42.5
10kg	466	33.8	45.6
12kg	470	32.4	44.0

※千粒重、収量は2.1mmのグレーダーで篩選後の値

○ハルヒメボシの適正播種量は、適期播きで6~8kg、遅播きで10~12kg/10a

○標準播きで厚播きすると、生育前半が過繁茂で穂数が少ない

○マンネンボシの適正播種量は、適期播きで8~10kg/10a